



いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会へ

T-mind

- 当院における
医療安全管理の取り組み
副看護部長 荒澤 恵子
- News
病院開院10周年記念
「健康フェス」開催報告
- Information

聞かせて!

総合診療科・
医療安全管理室

副看護部長

高尾 昌孝 / 荒澤 恵子

患者さんの安全のために
航空業界の手法を取り入れ
病院の安全対策を追求





聞かせて!

総合診療科・
医療安全管理室

高尾 昌孝

Masataka Takao

PROFILE

[たかお・まさたか]

1990年秋田大学医学部卒業。東葉クリニックエアポート泌尿器科院長、伊豆東部病院院長を経て、2025年より当院常勤医。日本泌尿器科学会専門医。

患者さんの安全のために 航空業界の手法を取り入れ 病院の安全対策を追求

「医療安全」の取り組み

今年4月に入職して以来、総合診療科の担当医であるとともに、医療安全管理室のメンバーとして病院全体の安全対策に取り組んでいます。

富里市の人工透析専門クリニックで長年院長を務め、のちに病床数160程度の総合病院でも6年間院長を経験しました。こうした現場で、私は常に「医療安全」、すなわち患者さんの安全確保を最優先に取り組んできました。

一般に医療機関では、手違いにすぐ気づいて実害が及ばなかったケースも含めて、アクシデント（事故）が起こる手前の出来事を「インシデント」といい、そうした事例を集めて再発防止に役立てています。

透析医療では、血液を人工的にきれいにするために多くの機器を使いますから、特にインシデントが起こりやすい環境だといえるでしょう。まず、それらを減らそうと事例を集めてみましたが、うまく改善できませんでした。極端に言うと、100のインシデントレポートに対して100の注意事項ができてしまい、毎日の

業務に生かすことができなかつたのです。

再発防止のための システムづくり

そこで、安全対策の分野で先行している航空業界をお手本にしようと考えました。航空業界では事故を起こさないための仕組みや体制が構築されていて、CRM（Crew Resource Management）と呼ばれる手法が世界中に普及しています。幸いにも2015年に、医療など他業種へのCRM導入を目的に会社を立ち上げたばかりの元パイロット、村上耕一さんらと出会いました。

全日空のCRM訓練開発にも携わった村上さんのアドバイスを得て、透析の手順を定め、インシデントレポートを時系列で並べてみると、どこでどういうミスが多く出るのがはっきりしてきたのです。こうして手順書に沿ってポイントを絞ったチェックリストを作り、そこに「ストップ&ルック」（いったん立ち止まって見る・考える）という工程を加えました。

基本となるのは「人間はミスをする」を前提とした考え方。失敗をそのまま終わらせず、そこから教訓を得ること、再発を予防し改善する仕組みを作ることが大事なのです。

医療安全を追求する 発想の原点

医師になる前は、機械工学科を卒業して飛行機の開発に関わる仕事に携わっていました。悲惨な航空機事故の情報や安全工学に関する書籍に触れる中で、20代前半に、「安全とは何か」という医療安全を追求していく発想の原点を叩き込まれたような気がします。

それがやがてヒューマンファクター（人的要因）やCRMへの関心につながっていきました。ヒューマンファクターは人間を肯定的に見る考え方で、ヒューマンエラーというのはそのマイナス面だけを表すもの。ミスを起こすのも人間ですが、原因を探り、ミスを予防したり改善したりしていけるのも人間なんですよ。

医学生時代に、医師になったら

ミスをしてはいけないと思い、こういう話を周囲の人にしてみました。当時は共感を得られませんでした。

「チーム」でミスを防ぐ

実は航空業界では、パイロットの独断を原因とする大きな事故が何度も起きていました。それらの事故は、逆方向に旋回したり高度を下げ過ぎたりしていることを副操縦士が指摘したにも関わらず、機長が判断を曲げなかった結果だということが分かっています。

CRM訓練も、そういった機長の独断ではなく、クルー全員が協調して「チーム」で事故を防げるように、対人関係や協調性についての教育が必要だということから始まりました。チームにとって何が正しいの

かという視点で考えていくと、傲慢さから生じるミスを排除し、心理的安全性（発言しやすさ）を高めて個々の能力を存分に発揮してもらうことができるようになります。

また、チームが「手順を守る」という了解の上に動くことは、スタッフが安心して仕事をすることにもつながります。

「安全文化」の共有を

コミュニケーションやユーモアといった「ノンテクニカルスキル」は評価しにくい面がありますが、チーム運営には不可欠です。

病院長時代には、医療安全の視点で取り組むことで「チームの協調がミスを減らす」ことを実感しました。当院には、より重症の患者さんも

いらっしやいます。例えば脳や心臓など高度で侵襲的な治療を行う場合には、人数や職種など、より大きなチームに関わることになります。各スタッフが自分の役割を果たすだけでなく、状況共有や声かけ、ダブルチェックなどの円滑なコミュニケーションでチームをつなぐことが、ますます重要だといえるでしょう。

死亡事故ゼロの航空会社が1社だけあるのですが、その会社には「定刻よりも安全を優先する」という意味の合言葉があります。これは組織全体が明確なコンセプトをもって業務にあたっているということです。

病院も、スタッフ全員の安全に対する思いのベクトルが一致していくように、「安全文化」を組織全体で醸成していくことが大事だと思っています。



コラム

当院における医療安全管理の取り組み

副看護部長 荒澤 恵子



積極的に発言することで、チームの規律と士気がいっそう高まっています。

「報告→学習→システム是正」の循環強化

当院ではインシデント報告の文化が根付き、報告件数は一定の水準に達しています。一方で、「報告／学習／システム是正」の循環をさらに強化することが課題です。そこで、集合研修、部署別シミュレーション、一次救命講習を全職員対象に継続的に実施し、特に若手の危険予知力の底上げを図っています。

心理的安全性の確保と教訓化の両立

どれほどマニュアルやレポートを整えても、心理的安全性がなければ根本的解決にはつながりません。事故は患者さんにとって最優先で向き合うべき出来事であると同時に、当事者となった職員を守り、組織として教訓化する——その両立こそが医療安全の大切な使命だと考えています。

医師参画によるチーム力の向上

当院には、徳洲会医療安全管理部会の大坪まゆ美部会長が2021年まで在籍し、医療安全の土台を築いてくださいました。私は2020年から大坪部会長と共に医療安全を担当し、同部会長の異動後もその方針を受け継いで取り組みを進めてまいりました。

今年、新たに医療安全分野に高い知見をお持ちの高尾先生をお迎えし、大きな期待を寄せております。医師が安全活動に参画し、会議やカンファレンスで

病院開院10周年記念「健康フェス」開催報告

9月21日(日)、開院10周年記念「健康フェス」を開催し、約1,700名の皆様にご来場いただき盛況裡に終了しました。

開会宣言の後、院長挨拶に続き、富里市・五十嵐市長より祝辞を頂戴しました。チーバくん・うなりくん・とみちゃんの着ぐるみが登場し、写真撮影には列ができるなど年齢問わず大好評でした。その他、日吉台商店街とコラボした「ひよし青空マルシェ」やステージ発表、腹腔鏡手術・AED体験、公開講座、警察・消防車両展示など多彩な企画を実施。会場はいずれも大いに盛り上がりました。

10周年という節目を地域の皆様と一緒に祝うことができ、私たち職員にとっても地域の皆様との絆を改めて感じる一日となりました。皆様のご支援に感謝申し上げるとともに、今後も地域医療に真摯に取り組んでまいります。



富里市・五十嵐市長による挨拶



院内は多くの来場者で賑わいました



ひよし青空マルシェ

Information



看護師経験者・新卒看護師を大募集！ LINEよりご応募ください！

当院では、一緒に働いてくださる看護師を募集しています。看護師採用LINEを友だち登録していただき、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、学校名・学年、メールアドレスをご記入の上、送信してください。応募に関する質問もお気軽にどうぞ。

※LINEをお使いでない方は、下記メールアドレスよりご連絡ください。

E-mail : kango@naritatomisato.jp

QRコードで
LINEに
アクセス！



看護部公式Instagram始めました！

当院の看護部で活躍する看護師たちの日々の様子を紹介しています。ぜひご覧ください。



@NARITOKU_KANGO



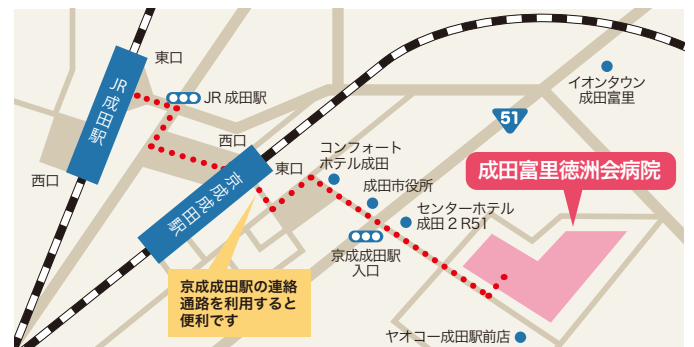
「とみちゃん」は富里市の公式マスコットキャラクターです。

成田富里徳洲会病院の運営方針

徳洲会の基本理念「生命だけは平等だ」をこの成田富里の地で実現することを使命として運営します。

理念の実行方法

1. 救急患者さんを断らない
2. 患者さんからの贈り物は一切受け取らない
3. 安心安全な質の高い医療を提供する
4. 地域のニーズに耳を傾け、患者さん目線で医療を提供する
5. 高度な技術と豊かな人間性を併せ持つ医療人を育成する



国道51号線からの場合、京成成田駅入口の信号を富里方面へ曲がり約100m東関東自動車道の場合、富里ICより成田駅方面へ約8分



医療法人徳洲会

成田富里徳洲会病院

〒286-0201 千葉県富里市日吉台 1-1-1 ☎0476-93-1001(代)
E-mail soumu@naritatomisato.jp https://www.naritatomisato.jp/

